



校訓：進取 敬愛 剛健

児童像 【考える子 思いやる子 たくましい子】

# 英田っ子

学校だより 11月号

平成30年11月1日

校長 西田 素子

校庭の木々が色づき、秋の深まりを感じる今日この頃です。先日の校内マラソン大会では、多くの保護者の皆様に応援いただき、参加者全員が完走することができました。低学年1km、中学年2km、高学年3kmという長い道のりを、最後まであきらめずに一生懸命走る子どもたちの姿に、心と体の成長を感じ、感慨深いものがありました。また、友達だけでなく他の学年の走者にも「がんばれ～」と声援を送る爽やかな光景、そして保護者の皆様の温かな拍手に、改めて英田小学校の良さを感じることができた大会でした。ご家庭でもたくさんの励ましの言葉をかけてくださったことと思います。ご協力ありがとうございました。

さて、11月は創立30周年記念式典・英田っ子フォーラムをはじめ、学校公開の機会が多くあります。是非子どもたちの学習の様子をご覧いただけたらと思います。



## 【11月の目標】

学習：「もう一度言えるように聴く」「ふり返りまでていねいに書く」

→日にち・課題・まとめを書くことは、全校的に定着してきました。その時間に何を学んだのか、「ふり返り」を含めた学習の足跡がしっかり残るノートとなるよう指導していきます。

生活：「進んであいさつをしよう」「正しい言葉づかいをしよう」

→先生や友達だけでなく、お客様や地域の方にも挨拶できるようになると素敵ですね。また、気持ちの良い言葉のやりとりができるよう、ふわふわ言葉について考える取組を進めていきます。

## ～ 努力することから逃げない、努力をおしまない人に ～

漢字や計算などの反復練習、苦手なことや少し難しいことへの挑戦など、学校では粘り強い「努力」を子どもたちに求める場面が多くあります。前述のマラソンもその一つであり、努力の先には「結果」がつきものです。つい結果がどうだったかということに目がいきがちですが、「努力する過程」をしっかり見取り、価値づけていきたいものです。

今日の集会で、右の言葉を紹介しました。作者不明の言葉ですが、心に響き勇気が湧いてくる言葉だと思います。

私たちは、何とか楽をして良い結果（成果）が出ないものかと考えたり、難易度の高さを理由に努力することをあきらめたりしがちです。しかし、簡単に手に入れた結果は真の力にはならず、達成感を味わうこともできません。また、努力を惜しんだばかりに成功のチャンスを失う戒めとして「後悔先にたたず」という諺もあります。

努力して結果が出なかったとしても、自信を失う必要はありません。経験したからこそ得ることができる知恵や実感があるのです。「ラストスパートであれだけスピードが出たのだから、もう少し前から頑張れたな」と失敗から学んだり、「走っている人は、とても苦しいだろうな。応援したら少しでも元気になるかな」と同じ努力をしている人に優しくなれたりするのです。

無駄な努力はありません。学習面も充実させたい2学期の後半、学校では、「コツコツ」「じっくり」がなされる英田っ子をめざして、様々な教育活動を展開していきたいと思います。子どもたちの意欲喚起・意欲持続には、保護者の皆様の協力が不可欠です。学校でがんばっていることを話題にさせていただき、その努力の過程を認め励ましていただけたら幸いです。



努力して結果が出ると、自信になる。  
努力せず結果が出ると、驕りになる。  
努力せず結果も出ないと、後悔が残る。  
努力して結果が出ないとしても、経験が残る。

家庭学習チェック週間へのご協力ありがとうございました。10月号でお知らせしました「宿題完成ルーム」は継続中です。習慣化は、まさに「努力の賜物」です。まだ定着が十分でないお子さんには、引き続きお声かけをお願い致します。